



# 米作りプロジェクト2023

# 情報共有

1 | 主催者 原さん紹介

2 | プロジェクトの経緯

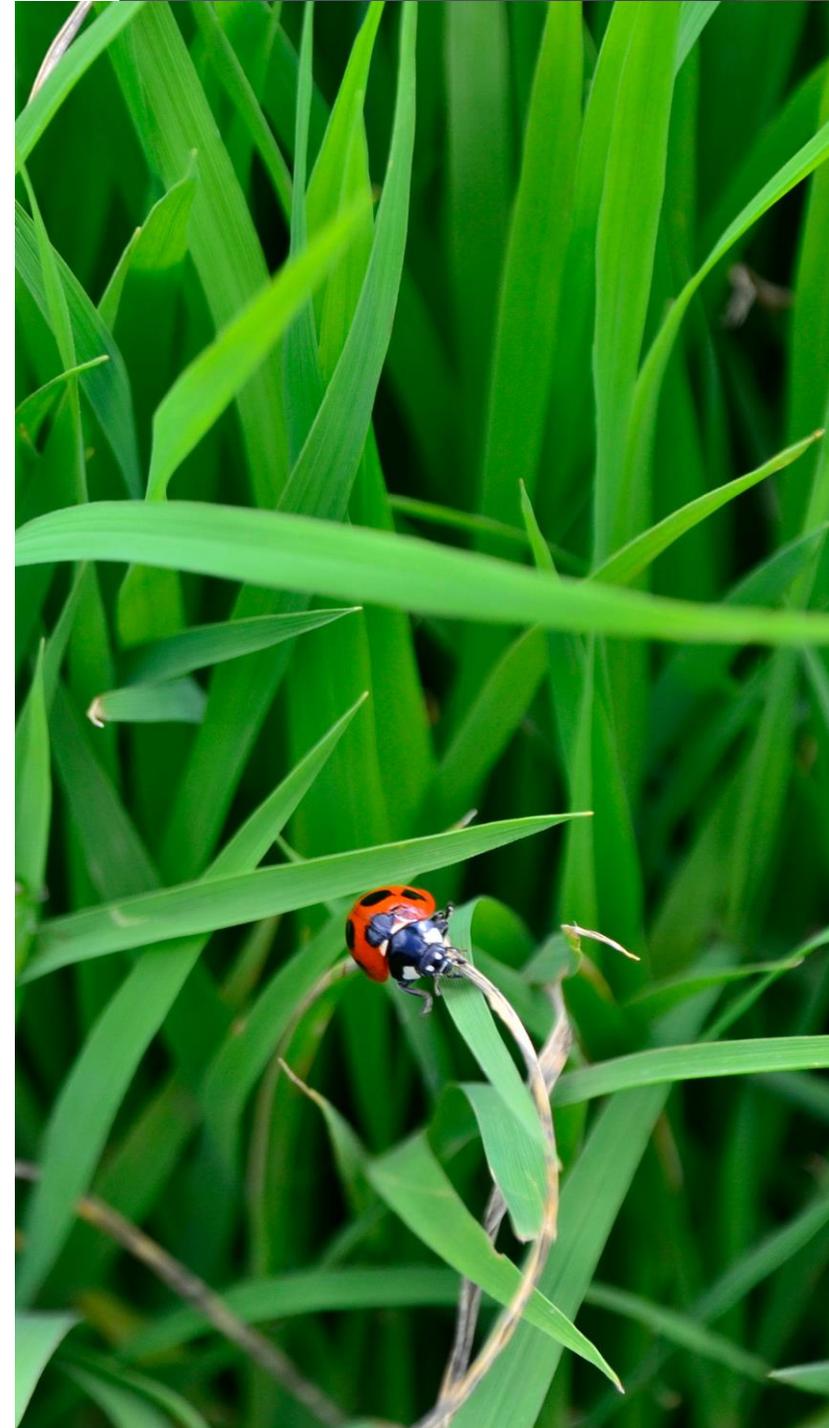
3 | 田んぼ詳細

4 | 年間行事予定

5 | 具体的な関わり方

6 | 参加者へのリターン

7 | 参加費…その他





# 主催者 原さん紹介

## 原 悠樹 (はら ゆうき)

萬葉楽グループ代表 <https://www.manyoraku.co.jp/>  
慶育祭実行委員会 事務局長  
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員

横浜生まれ。37歳。  
国際社会で活躍する実学と自由創造を重んじるSFCに憧れて入学。修士・博士を経て上席所員となり、合同会社萬葉楽を設立。

コミュニティ事業をコアに、  
◆植木業を利用して緑豊かな郊外住宅地の環境保全  
◆食一農、運動一遊び、心一音楽から地域を健康にする  
フェスティバルの開催  
◆留学生に、もっと日本を好きになってもらう地域交流の推進等に取り組む

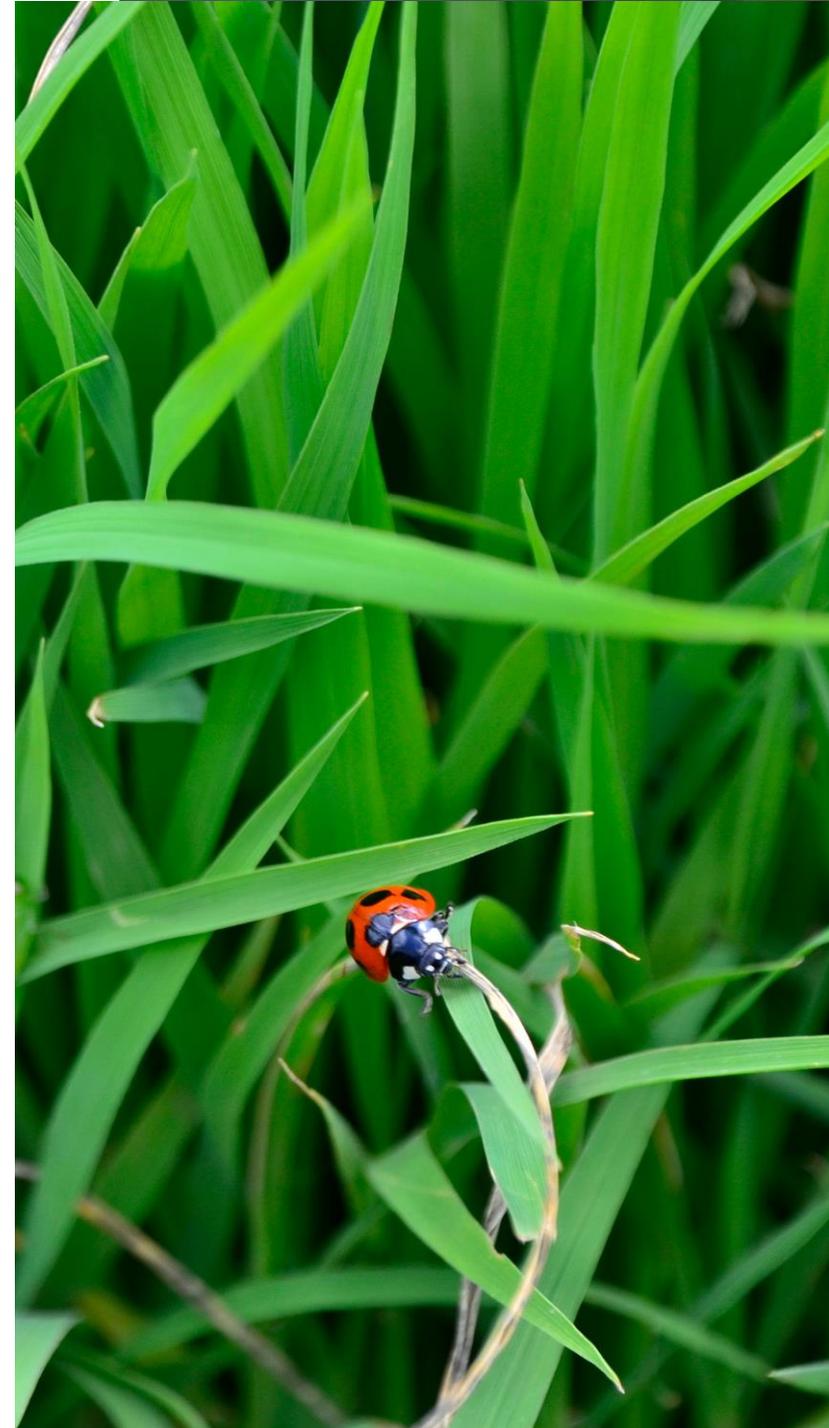
また農業や、竹林間伐など、自然の中で奮闘中。

# プロジェクトの経緯

原さんが藤沢北部に残る農家古民家「古民家 こんぱち」を再生し、地域の拠点作りに取り組み始めた頃、近隣田んぼ水利組合の取りまとめ役の方から

「この地域も高齢化と後継者不足が顕著で田畑が荒れ始め、今ある田んぼも近い将来に耕作放棄地となってしまう可能性が大きい。やる気があるならこの田んぼでの米作りをしてみないか」と依頼されたことがきっかけ。

**耕作放棄地の増加を防ぐ事だけではなく地域の景観保全の観点からもその役割は地域にとって重要**と考え2021年から米作りプロジェクトがスタート。



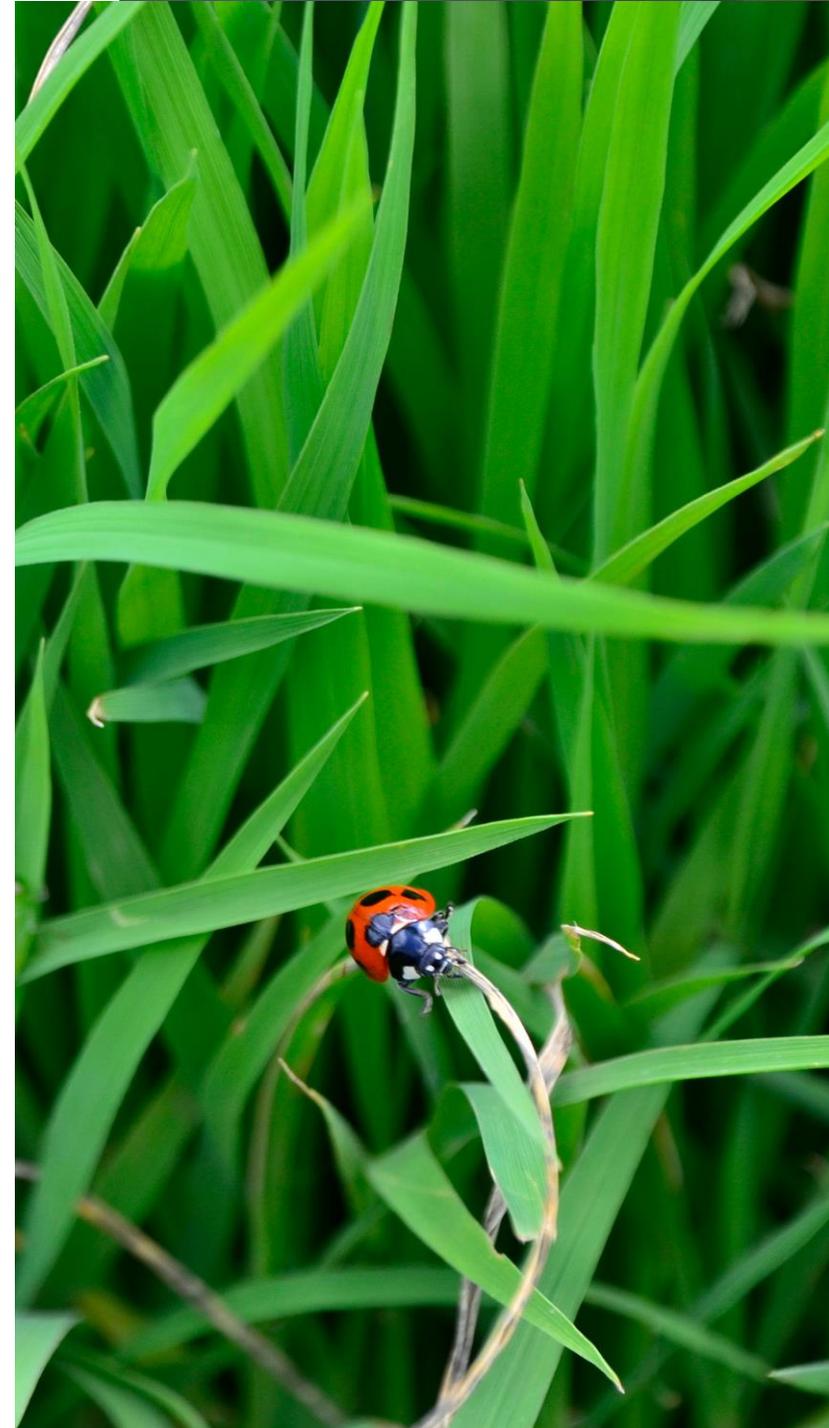
# 田んぼ詳細

## 1 場所



2 広さ 1.5反 450坪

3 収穫予想値 240kg~360kg 4~6俵



# 年間作業（行事）予定

2月か3月 全体説明会

3月 溝堀り 畦補修

4月 苗代作り

5月 苗代除草 種まき 用水路掃除

6月 代掻き 田植え 除草

7月 除草（数回）

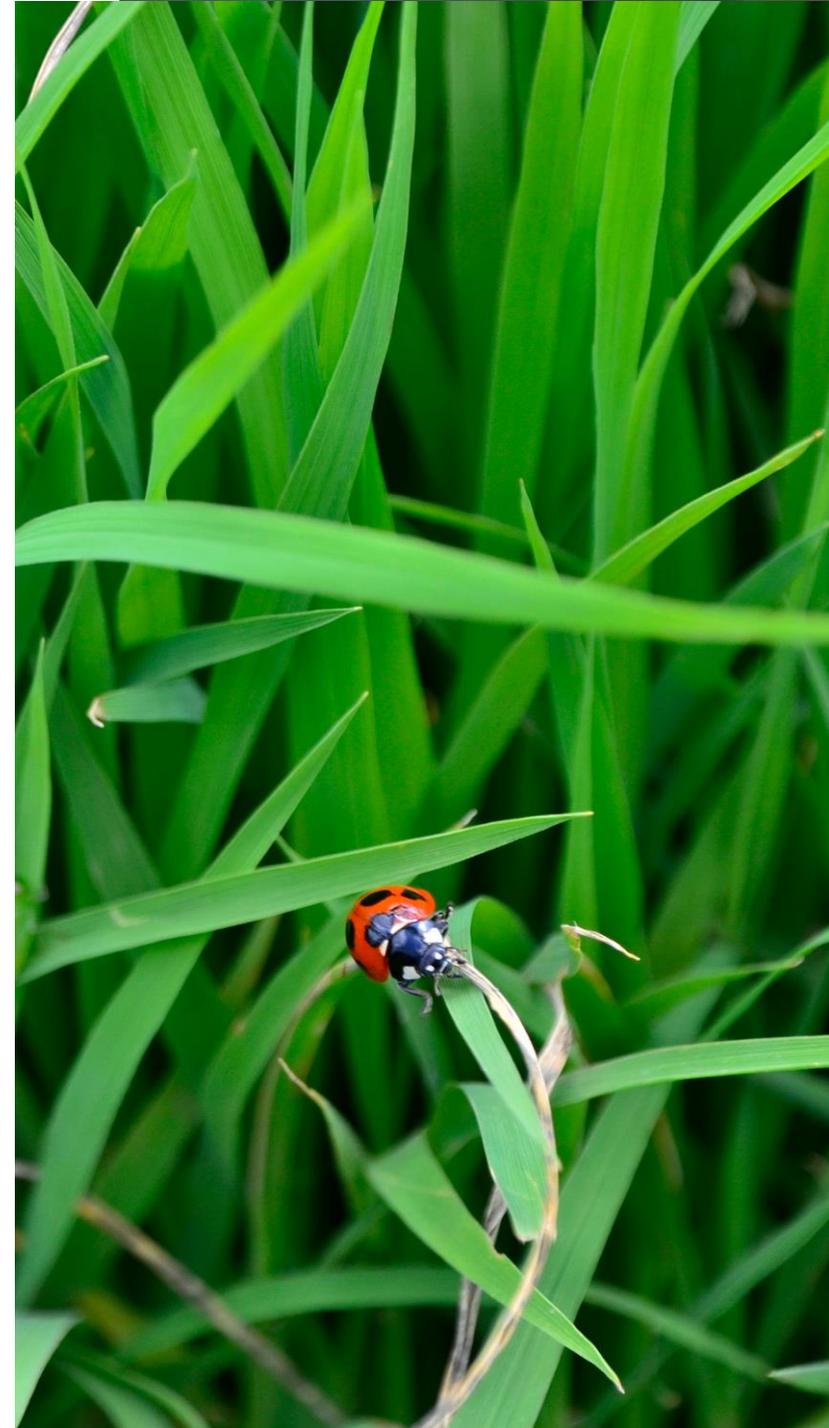
8月 除草（数回）

9月 除草（数回）

10月 はざかけ棚作り 稲刈り

11月 脱穀 粃摺り

麴作り、味噌作り、しめ縄作り、もちつき、泥んこバレー  
泥んこドッチボール、流しそうめん、農村文化にまつわる体験  
なども検討中

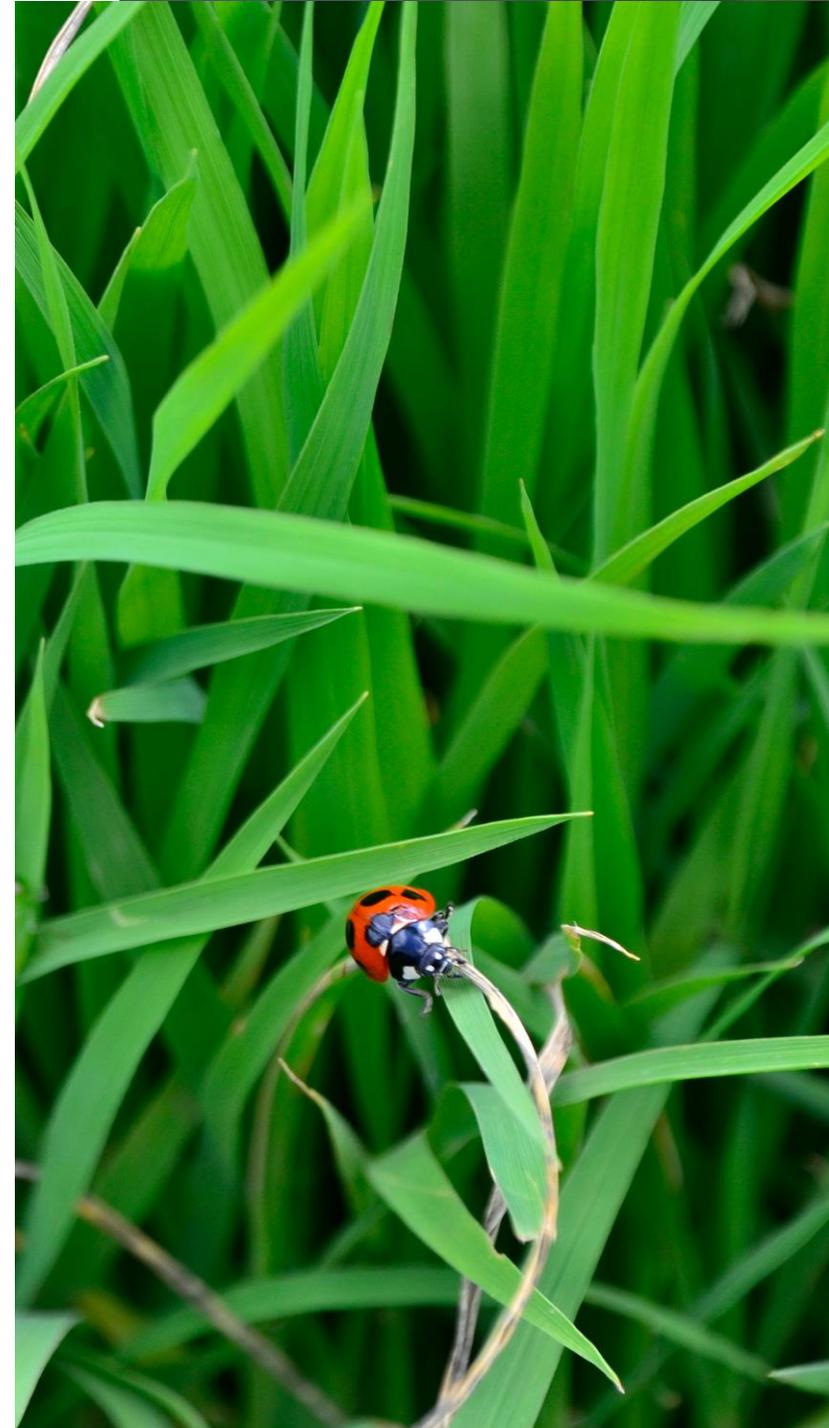


# 具体的な関わり方

「米作りプロジェクト2023チーム」のレギュラーメンバー

- 年間作業、行事への参加
- 作業、行事に関して新しいアイデア考案、提供

※特に人手が必要な作業時（代掻き、田植え、除草、稲刈り）は積極的に参加して欲しい



# 参加者へのリターン

例…プロジェクト参加者15名の場合 1名あたり米20kg  
あとは…もち、しめ縄など

**モノではなく…以下体験、体感が大きなリターン（価値）**

## 【自然と向かい合う】

生き物や土、水に触れ、季節毎の稲の生長を観察

## 【没頭】

手作業でじっくり田んぼを整える

## 【創意工夫】

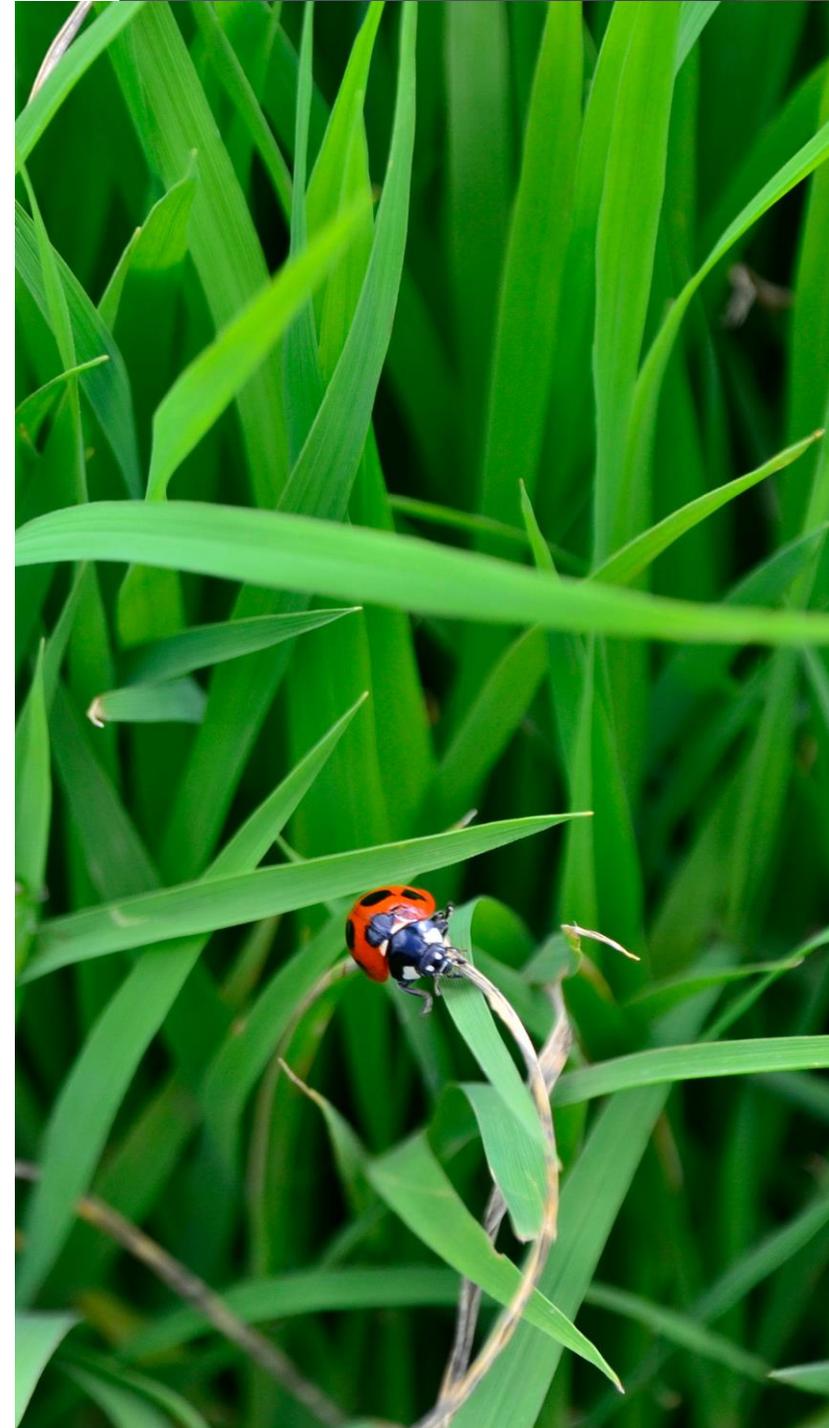
毎年条件の異なる田んぼを見ながらお米を育てる、

## 【チームワーク】

体力や得意に合わせた作業分担、一列に並んで一斉に田植え

## 【達成感】

お米が出来上がる、美味しく頂く



## 参加費…その他

参加費… ¥ 10,000

参加者10~15名以上必要

作業は基本的に手作業だが、田んぼの最初の支度で不可欠な耕耘作業のトラクター借用料（レンタル、燃料）をはじめ、年間 ¥ 150,000程度は予め確保しておきたい

